様式１

令和８年度使用教科書選定理由書

【１　選定に係る基本方針】

県立越生翔桜高等学校

本校は、目指す学校像を「生徒一人一人の長所を伸ばし、社会で活躍できる『人財』の育成を目指す学校」と定め、生徒の持てる力を最大限に伸ばす教育活動を展開している。

また、普通科と美術科の２学科を有し、生徒たちは多様な興味・関心をもって本校に入学してくる。個に応じた指導を充実させることで、生徒たちそれぞれの特色を生かし自主的・自立的な態度を育む。少人数指導や習熟度別指導を活用した「わかる授業」を通して、学習意欲を高め、基礎学力の定着と専門的な能力の向上を図り、進路実現を支援する。

これらをふまえ、以下の点に配慮して、本校生徒にふさわしい教科書を選定する。

○各学科の特色、教科・科目の目標の達成に適切であること。
○基礎的・基本的な内容を含みつつ、発展的な学習にも対応でき、多様な生徒の学力向上に資するものであること。
○生徒の多面的・多角的なものの見方・考え方を促すとともに、言語活動を通した主体的な学習態度を育成できること。
○写真や挿絵、グラフ等が適切に配置され、視覚的にも生徒の興味・関心を引き出しやすく、学習を喚起しやすいものであること。

なお、選定に当たっては、教科会、教科書選定委員会において教科書選定に関する調査・研究を十分に行った上で、校長の権限と責任のもと適正な選定を行う。

※　学習指導要領、学校教育目標、学校や学科の特色、生徒の実態等を踏まえて、学校としてどのような方針をもって教科書選定を行うかを示す。